

第6回国家公務員共済組合連合会契約監視委員会議事概要

開催日及び場所	平成27年 9月 8日(火) 九段合同庁舎9階 共用第一会議室	
委員 (敬称略)	委員長 栗田 誠 (千葉大学大学院専門法務研究科教授) 委員長代理 藤川 裕紀子 (藤川裕紀子公認会計士事務所 公認会計士) 委員 渡辺 周 (平沼高明法律事務所 弁護士) 委員 大森 摂生 (国家公務員共済組合連合会 常任監事) 委員 石川 良二 (国家公務員共済組合連合会 常任監事)	
審議対象期間	平成26年度	
抽出案件	6 件	(備考)
① 競争性のない随意契約における随意契約事由の妥当性・経緯及び契約金額の妥当性	1 件	契約件名 : 医事課病棟・外来業務委託【案件1】 契約締結日 : 平成26年4月1日 担当部局 : 横浜栄共済病院(旧令病院部)
② 競争契約における入札参加資格の設定理由・入札の経緯、入札手続きの妥当性	1 件	契約件名 : 被用者年金制度一元化に係る情報連携システム用サーバ等の賃貸借等【案件5】 契約締結日 : 平成26年8月1日 担当部局 : 本部(経理部)
③ 一者応札・一者応募であったものについて、競争性確保の妥当性	1 件	契約件名 : 電子計算機装置の更新に係る賃貸借契約、環境構築作業及び年金システム等の稼働維持支援業務【案件4】 契約締結日 : 平成26年5月22日 担当部局 : 本部(経理部)
④ 落札率が100%であったものについて、予定価格の設定に関する妥当性	2 件	契約件名 : 医事課外来業務委託【案件2】 契約締結日 : 平成26年4月1日 担当部局 : 立川病院(病院部) 契約件名 : 電話交換業務委託【案件3】 契約締結日 : 平成26年4月1日 担当部局 : 東京共済会館(宿泊事業部)
⑤ その他委員会が審議を要すると認めた契約の契約方式の妥当性等	1 件	契約件名 : 被用者年金制度一元化等に係るシステム改修・開発作業【案件6】 契約締結日 : 平成26年5月22日 担当部局 : 本部(経理部)
委員からの意見・質問、それに対する回答等	別紙のとおり	
理事長に対する意見の具申又は勧告の内容	な し	

意見・質問	回答等
【案件1及び2】 横浜栄共済病院医事課病棟・外来業務委託(審議事項①) 立川病院医事課外来業務委託(審議事項④) ・案件1について、契約事前確認公募の方式を採用した理由は何か。仮に他者から申し出があった場合には競争入札を実施したのか。 ・案件1について、公告から契約の履行開始までの期間が短いので、競争入札実施期間を考慮して長くしてはどうか。また、公告の掲示について、病院玄関前の掲示の他にWeb開示などなるべく広く周知できる方法を考えていただきたい。 ・案件1について、契約事前確認公募では、特定の者との契約締結を前提としたかのように応募者が現れないので、中立的に広く募集する必要があるのではないか。また、業務の性質上、複数の応札の可能性のある本件について、この方法は不適切ではないか。 ・医事課業務は各病院に共通していることから、地域によって事情は異なると思うが、予定価格の積算方法や実績を分析して、連合会全体で検討していくことが今後は必要なのではないか。	・今まで一者随意契約で行っていたが、初めて契約事前確認公募の方式で実施した次第。公募案内に掲載のとおり、応募要件を満たすと認められる者がいる場合には一般競争入札に移行することになる。 ・そのように対応したい。 ・検討する。 ・旧令病院部、病院部で協議し、連合会全体で検討する。
意見・質問	回答等
【案件 3】 電話交換業務委託(審議事項④) ・予定価格調書の日付が入札執行当日になっているが、前日までに設定するということを書面上も徹底されたい。 ・担当部から既に改善を要する点として説明されたように、複数年契約のメリットを享受できるような契約にすること等について、見直していただきたい。	・予定価格を定める一連の決裁で決めた日付を入れるように指導する。 ・契約事務の向上を目指し、契約担当者に対する情報提供、指導に努めていく。
意見・質問	回答等
【案件 4】 電算計算機装置の更新に係る賃貸借契約、環境構築作業及び年金システム等の稼働維持支援業務(審議事項③) ・契約のなかに保守業務と漢字プリンターの使用料が含まれているが、性質が異なるものを一つの契約として入札した経緯は何か。 ・仕様でソフトウェアやハードウェアを特定業者製品に限定するのは技術上やむを得ないのか。 ・各省庁のIT関係の調達ではCIO補佐官が置かれている。連合会もそういう第三者的なアドバイスを得ながら発注しているのか。	・賃貸借契約には、保守も一緒に含まれており、プリンターについては、電子計算機(ホストコンピュータ)と一体で稼動するものであることによる。契約書はそれぞれに分けているが、入札は一体で行った次第。 ・連合会の年金関係のプログラムの動作の確認、安全性を考慮すると難しい。 ・今後はそういった第三者の助言等を得るようになる必要があると認識している。

意見・質問	回答等
【案件 5】 被用者年金制度一元化に係る情報連携システム用サーバ等の賃貸借等(審議事項②) ・入札時に、入札したリース業者の選定した保守業者がどこか、連合会で確認しているのか。保守に関しては、落札業者の技術力の問題もあるので、入札時に合わせて、確認した方が良いのではないか。 ・参考見積の徴取が1者しかなく、本来は見積書を複数徴取したかったところではないかと思うが、1者になった理由は。	・入札したリース業者に、自ら選定した保守業者の資格要件を満たすことは求めているものの、保守業者の確認までは行っていなかった。今後、検討する。 ・複数者に依頼したが、仕様を説明する前の段階で断られてしまった。事業者としても、年金システム関係にはリスクを伴うので、なかなか難しい面があるのではないと思われる。
意見・質問	回答等
【案件 6】 被用者年金制度一元化等に係るシステム改修・開発作業(審議事項⑤) ・契約事前確認公募の公告資料や契約書を見ると、システムの知的所有権関係はどこに帰属しているのか、他業者が使用した場合にライセンスがクリアできるなどの条件が明示されていないと応募できないのではないか。 ・実態が明確でない時点で計上した予算額と人工等により積算した価格を比較し、安価ということで予算額を予定価格をするのは適切性に欠ける。	・今後検討する。 ・予算額以上のものは費用拠出できないため、予算額を予定価格としたが、適正に予定価格を出すように努める。
意見・質問	回答等
【審議全体を通じての指摘事項】 ・やむを得ず随意契約とした理由について具体的な事象毎に整理類型化し、この案件はこの類型に合致するので随意契約とした、ということが明確に分かるようにしておく必要があるのではないか。 ・独立行政法人では、今までは一律の基準で随意契約の数と率を減らすことを目標にしてきたが、今年度から各法人の調達内容に合わせた目標を立て、それをPDCAサイクルで契約監視委員会で議論するという方向に変わってきているところもあるので、検討してはいかかが。 ・システム関係の契約など、高額で、取引相手が事実上特定され長期に渡るような契約になりがちであるが、取引相手側から提出される資料等に対応できる人材を育てる必要があるのではないか。	